



2023  
環境活動レポート  
エコアクション21

2023年4月1日～2024年3月31日

愛和建设

発行日：2024年6月21日

## 目次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 認証・登録の対象組織・活動
4. 環境目標
5. 主な環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果の評価
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 環境経営方針

### <基本理念>

当社は、“あい・は・ゆめ”をキャッチフレーズに、愛と調和を企業理念として、建設の頼もしさや優しさをベースに、人、暮らし、地球とよりよい関係を築いていきたいという願いを込めています。地球温暖化をはじめとするさまざまな環境問題に対して、事業活動に伴う環境への負荷を削減するとともに、環境に優しい建物を提供することで、地球環境の保全に貢献してまいります。

### <行動指針>

- 1 事業活動に伴って排出される二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- 2 事業活動に伴って排出される廃棄物の削減やリサイクルに取り組めます。
- 3 事業活動に伴って排出される排水量や、水使用量を削減に取り組めます。
- 4 事業活動に伴って使用される資材の化学物質の適正管理に取り組めます。
- 5 建設現場・工場での省資源・省エネルギー化を推進します。
- 6 当社に求められる環境関連法規等を遵守します。
- 7 定期的に環境経営システムを見直し、継続的に改善していきます。
- 8 業務のICT化による合理化の推進を行います。
- 9 省エネを重視した商品開発を行います。
- 10 お客様に建物の省エネルギー化の提案・推進をします。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年11月1日

愛和建设株式会社  
代表取締役社長 横山隆太

## 2. 組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

愛和建设株式会社  
代表取締役社長 横山隆太

### (2) 所在地

本 社	山形県山形市北町三丁目9番15号 TEL:023-664-0068 FAX:023-664-0018
軽 量 営 業 部	山形県東村山郡中山町長崎1208-1 TEL:023-662-5555 FAX:023-662-2200
仙 台 支 店	宮城県仙台市太白区富沢一丁目8-14 TEL:022-399-8615 FAX:022-399-8617

### (3) 環境管理責任者氏名

責 任 者 総務経理部課長 後藤真紀

### (4) 事業内容

建設に関わる工事の一式（設計・施工・メンテナンス全般）  
プレハブ組立ハウスの製造・販売  
建築資材の開発・製造・販売

### (5) 事業の規模

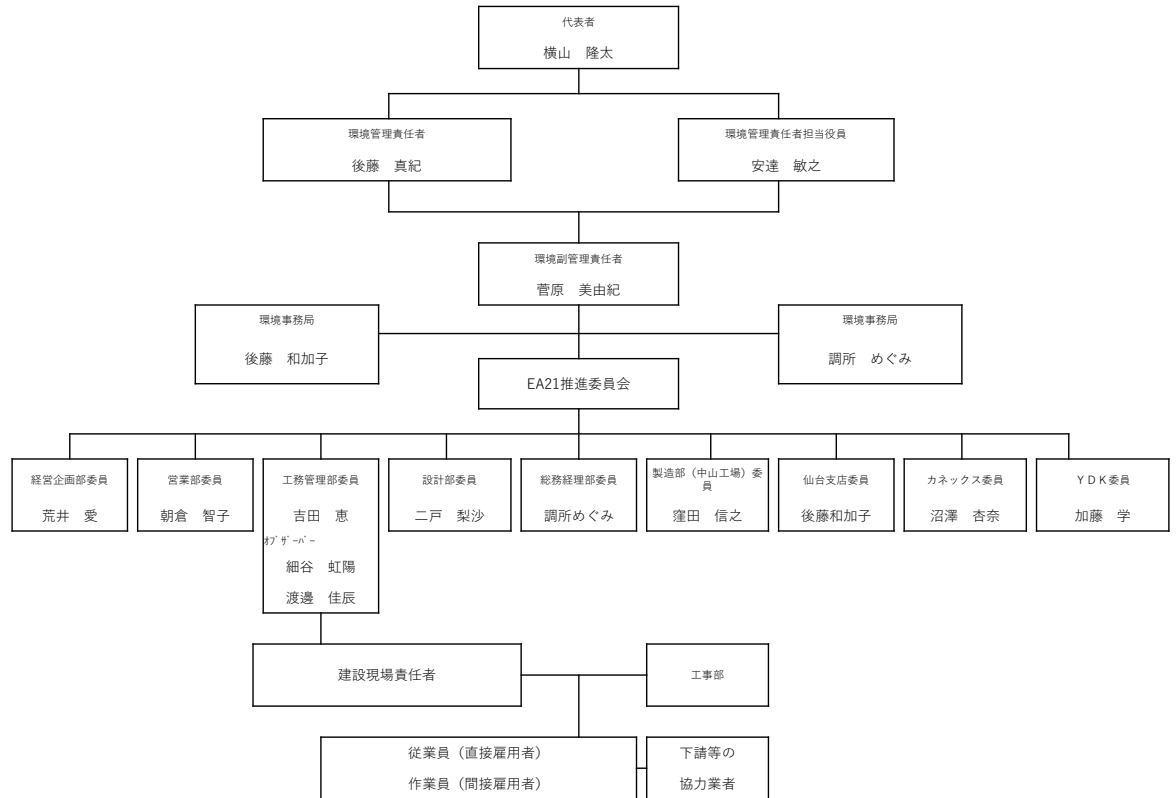
設 立 1944年4月17日  
資本金 8,000万円  
売上高 33.2億円（2023年度）  
従業員 64人（2024年3月末現在）

### (6) 事業年度

4月～翌年3月

エコアクション2.1実施体制

■制定日：2019年10月1日  
 ■改訂日：2023年4月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営における課題とチャンスとの明確化</li> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>効果的で必要十分な実施体制を構築する</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ案を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画を確認</li> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画の原案作成</li> <li>環境経営の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長・推進委員・建設現場責任者・協力業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門、建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>自部門、建設現場における環境経営方針の周知</li> <li>自部門、建設現場の従業員、作業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門、建設現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門、建設現場における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> <li>自部門、建設現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員・作業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加</li> </ul>

### 3. 認証・登録の対象組織、活動

#### (1) 認証・登録範囲

全組織、全活動

#### (2) 環境活動レポートの対象取組期間

2023年4月1日～2024年3月31日

### 4. 環境目標

#### (1) 環境目標項目の選定

環境負荷と取組についての自己チェック、環境方針との整合性を図り、次の項目について環境目標を設定します。

- ・ 二酸化炭素排出量
- ・ 廃棄物排出量
- ・ 水使用量
- ・ 化学物質使用量
- ・ 自らが施工・販売する建築物等の環境性能の向上

#### (2) 環境目標（短期・中長期）の設定

各項目の削減目標については、下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2023年4/1～3/31	2023・2024・2025年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	2022年度比1%削減	前年度比1%削減
一般廃棄物排出量 (kg)	2022年度比1%削減	前年度比1%削減
水使用量 (m3)	2022年度比1%削減	前年度比1%削減
化学物質使用量 (kg)	2022年度比1%削減	前年度比1%削減
建設現場・工場での省資源・ 省エネルギー化の推進	推進策実施による省力化 推進	推進策の検討、推進策実 施による省力化推進
省エネ建築物推奨・提案	省エネ建築物提案数増加	推進策の検討、推進策実 施、適正管理
製作の効率化・予定の管理	作業効率の最適化を図る	推進策の検討、推進策実 施、適正管理
協力業者を含め、現場毎環境へ の取組を行う	現場状況に応じた重点取 り組み目標の設定と遂行	推進策の検討、推進策実 施、適正管理

2022年度実績値（本社・中山）を基に2023年度の具体的目標値を下記のように算出しました。（1%削減）

	2022年度実績	取組期間目標値
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	172,888	171,159
電気使用量 (kWh)	113,545	112,410
灯油使用量 (L)	4,962	4,912
L P G使用量 (m3)	22.4	22.18
ガソリン使用量 (L)	37,781	37,403
軽油使用量 (L)	8,110	8,029
一般廃棄物排出量 (kg)	2,069	2,048
産業廃棄物排出量 (kg)	13,433	13,299
総排水量（水使用量） (m3)	528	523
化学物質使用量 (kg)	399.6	396
省エネ建築物 推奨・提案	実施状況の適正管理	省エネ法を受講し 設計での提案に繋げる
製作の効率化・予定の管理	実施状況の適正管理	作業効率の最適化を図る
協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う	実施状況の適正管理	現場状況に応じた重点取り組み目標の設定と遂行
改修リフォーム工事の推進・提案	実施状況の適正管理	省エネ建築物提案数増加
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進	実施状況の適正管理	情報発信と啓発活動の強化

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、2021年度の東北電力の実排出係数0.457g-CO2/kWhを使用しています

## 5. 主な環境活動計画

1.二酸化炭素排出量の削減	
(1) 電気使用量の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部屋の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減</li> <li>■定期的にエアコンのフィルターを清掃する。</li> <li>■エアコン屋外機の冷却対策を検討する</li> </ul>
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■燃費の管理と削減の促進</li> <li>■エコ運転・定期的な車輛整備をする</li> <li>■現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理</li> </ul>
2.廃棄物排出量の削減	
(1) 一般廃棄物の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■雑紙の分別・回収の周知、徹底</li> <li>■排出量を前年と比較してグラフ化</li> </ul>
(2) 産業廃棄物の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■分別の徹底</li> <li>■混廃の減少</li> <li>■電子マニフェストの活用（導入・運用）</li> </ul>
3.総排水量の削減（水使用量の削減）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■手洗い時の節水</li> </ul>
4.化学物質使用量の削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■化学物質使用量の把握・噴霧量の的確な調整</li> <li>■適正な保管管理</li> </ul>
5.省エネ建築物推奨・SDGsとの連携	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う</li> <li>■省エネ法の講習会へ参加する</li> </ul>

6.製作の効率化・予定の管理	
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知
7.協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う	
	■品質施工計画書によるエコアクション21項目のチェック
	■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。上記チェック項目と合わせた事務所への掲示
	■美化チェック訪問でのエコアクション21項目の実施状況のチェック
8.教育・訓練の実施	
	■新入社員への環境教育の実施
	■建設現場での協力業者への環境教育の実施
9.環境コミュニケーションの実施	
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる
10.環境上の緊急事態への準備及び対応	
	■建設現場の状況に応じた協力業者を含めた訓練の実施
11.カネックス	
	■新築工事・改修リフォームの推進・提案
12.YDK	
	■カーボンニュートラルを達成した素材を使用する
	■国産・県産材の使用の推進

## 6. 環境目標の実績

■ 対象取組期間における環境目標の達成状況は下記の通りでした。

		2023年度目標	2023年度実績	削減量	達成度
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		171,159	182,284	11,125	×
電気使用量 (kWh)		112,410	113,034	624	×
灯油使用量 (L)		4,912	4,031	▲ 881	○
L P G使用量 (m <sup>3</sup> )		22.18	19	▲ 3	○
ガソリン使用量 (L)		37,403	43,748	6,345	×
軽油使用量 (L)		8,029	7,378	▲ 651	○
一般廃棄物排出量 (kg)		2,048	1,902	▲ 146	○
産業廃棄物排出量 (kg)		13,299	5,222	▲ 8,077	◎
総排水量（水使用量） (m <sup>3</sup> )		523	505	▲ 18	○
化学物質使用量 (kg)		396	364	▲ 32	○
省エネ建築物推奨・SDGsとの連携		省エネ法を受講し 設計での提案に繋げる	実施中		○
製作の効率化・予定の管理		作業効率の最適化を図る	実施中		◎
協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた 環境への取り組みを行う		現場状況に応じた重点取り 組み目標の設定と遂行	実施中		○
新築工事・改修リフォームの推進・提案		省エネ建築物提案数増加	断熱改修提案14件、受注10件 省エネ改修提案17件、受注14件		○
カーボンニュートラルを達成した素材、 国産・県産材使用の推進		情報発信と啓発活動の強化	実施中		○

なお、2023年度の各項目とも仙台支店・工事現場は含まず本社・中山工場の総量での比較目標に対して◎：非常に良い ○：良い △：前年度並み～やや悪い ×：悪い

## 7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

＜2023年度環境経営計画の実施状況の確認・評価＞				
■制定日：2023年4月1日				
■取組期間：2023年4月～2024年3月		■実績評価： ○良好 △不十分 ×未実施		
環境経営計画 (どのように)	実施時期	該当場所	総合 評価	評価/対策等
	(いつ)	(どこで)		
1.二酸化炭素排出量の削減				
(1) 電気使用量の削減				
■部屋の消灯、OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	全社	○	カネックス事務所改修時に電気の区画分けを実施した。不要な照明の消灯が可能になり省エネ効果が期待できる。
■定期的エアコンのフィルターを清掃する。	通年	全社	○	
■エアコン屋外機の冷却対策を検討する	通年	本社	○	
(2) ガソリン・軽油・灯油の削減				
■燃費の管理と削減の促進	通年	事務所・中山・仙台・現場	△	工務・営業用に低燃費車を2台導入した。燃費の集計を実施しグラフ化し周知したが活用までには至っていない。今後の課題としていく。
■エコ運転・定期的な車輛整備をする	通年	事務所・中山・仙台	○	
■建設現場・中山でのジェットヒーター等の適正管理	通年	建設現場・中山	○	
2.廃棄物排出量の削減				
(1) 一般廃棄物の削減				
■雑紙の分別・回収の周知、徹底	7月～	事務所・中山・仙台	○	古紙回収ボックスを設置し、分別する紙類を掲示。リサイクルできる紙類・できない紙類の分別を周知することができた。
■排出量を前年と比較してグラフ化	通年	事務所・中山・仙台	○	
(2) 産業廃棄物の削減				
■分別の徹底	通年	廃棄物置場	○	中山工場にて、電子マニフェストの運用を実施した。今後は工事現場でも活用に繋げていきたい。
■混廃の減少	通年	建設現場	○	
■電子マニフェストの活用(導入・運用)	通年	建設現場	○	
3.総排水量の削減(水使用量の削減)				
■手洗い時の節水	通年	事務所	○	実施済
4.化学物質使用量の削減				
■化学物質使用量の把握・噴霧量の確な調整	通年	中山	○	エアアの調整や定期的な環境測定を実施。適正に管理を行った。

5.省エネ建築物推奨・SDGsとの連携					
	■環境活動の取組とSDGsについて検証を行う	随時	事務所	○	活動報告時にSDG'sとの検証を実施した。設計部5名が、改正建築物省エネ法オンライン講座を受講した。
	■省エネ法の講習会へ参加する	随時	事務所	○	
6.製作の効率化・予定の管理					
	■他部門と連携した予定管理と、情報の共有・周知	通年	中山	○	営業・工務と毎週打合せを実施し、工程管理を行った。
7.協力業者を含めた現場毎の状況に合わせた環境への取り組みを行う					
	■品質施工計画書によるエコアクション21項目のチェック	通年	建設現場	○	美化チェック時に、現場事務所へ環境方針の掲示があるか確認。別プロジェクト稼働により、2024年9月まで美化チェック休止。
	■現場毎に現場状況に応じた環境への重点取り組み目標の設定。上記チェック項目と合わせた事務所への掲示	通年	建設現場	○	
	■美化チェック訪問でのエコアクション21項目の実施状況のチェック	通年	建設現場	△	
8.教育・訓練の実施					
	■新入社員への環境教育の実施	随時	事務所	○	新入社員への環境教育は随時実施。現場事務所へ環境目標を掲示し、協力業者へ周知を行っている。
	■建設現場での協力業者への環境教育の実施	通年	建設現場	○	
9.環境コミュニケーションの実施					
	■近隣挨拶で回ったリストを作成。要望事項等を記録に残し、現場重点取り組み目標に反映させる	随時	建設現場	○	9現場で合計62件訪問を実施。指摘事項、要望などは無し。
10.環境上の緊急事態への準備及び対応					
	■建設現場の状況に応じた協力業者を含めた訓練の実施	年1回	建設現場	○	中山公園野球場躯体防水改修工事 現場地内にて、現場作業中に社員が熱中症になった事を想定した緊急事態訓練を実施
11.カネックス					
	■新築工事・改修リフォームの推進・提案	随時	カネックス	○	断熱改修提案14件、受注10件 省エネ改修提案17件、受注14件
12.YDK					
	■カーボンニュートラルを達成した素材を使用する	随時	YDK	○	オリジナル商品『sasutte』にて使用
	■国産・県産材の使用の推進	随時	YDK	○	オリジナル商品『sasutte』にて使用
■全体の評価					
計画の実施が一時的なもので終わらず、継続的に環境への負荷を減らす取り組みが実施できていると評価する。社内プロジェクト稼働により、美化チェックが一時休止中になった。代替できる対応を検討する必要があったかと思われる。集計の結果の活用が今後の課題である。					
■次年度の取組内容					
人員増加も要因ではあるが、ガソリン・軽油使用量が増えているため、集計の結果を活用しエネルギー効率の向上に努める。廃棄物の削減やリサイクルの促進により、資源の有効活用に取り組む。					

## 7. 環境活動計画の取り組み結果の評価-実践記録

### 中山工場 省エネ最適化診断

省エネルギーセンターの方より工場内の電気使用状況を確認いただき、コストがかからない対策や太陽光パネルの提案長期的に取り組むアイデアなど色々教えていただいた。今後の改修工事の際に参考にし、改善していく。



### 勤怠システム導入

勤怠システムを導入する事により、事務効率化・ペーパーレス化を図る。  
5月16日より稼働。



### 中山工場近隣清掃

近隣のゴミの片付け、側溝の草刈り。場内の片付け、草むしり。  
協力業者さんにも参加いただき、全員で実施。



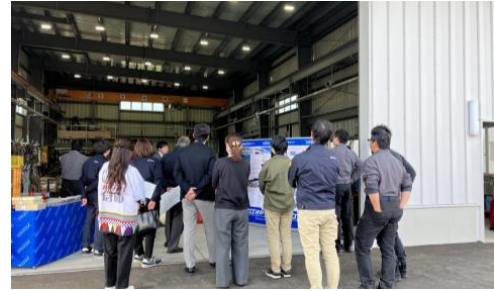
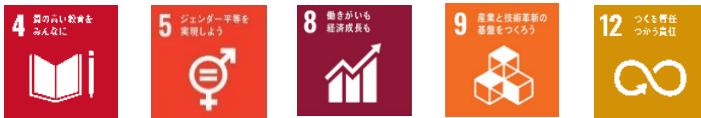
### YDK 県産材を使用した木製小物の製作

県産材を使用しており、木の種類にも興味を持ってもらえるよう様々な樹種も用意した。木に対して興味を持つ人を増やすとともに森の持続可能な経営(伐って、使って、植える合法伐採)を成功させる。山形産の県産材をほかの県ではなく県内で消費する活動を広めて行きたい。



## 価値倉庫見学研修会

自社施工の工場見学会を開催。お客様向けの見学会に合わせて社員の見学会を実施。建築の構造の知識・理解を深める。



## 古紙回収

回収ボックスを設け、リサイクルの促進を行う。事務所内の特定の場所古紙回収ボックスを設置。紙類回収の呼びかけをした。

古紙のリサイクル実施中  
以下の紙類は回収ボックスへ



## カネックスフロア内照明の区画分け

電源を3区画に分け、席を空ける際は各区画毎に消灯。営業と他部署の出勤日が異なる為、不要な照明の消灯が可能になり省エネ効果が期待できる。



## 本社 エアコンの室外機の日よけの設置

室外機本体に直射日光が当たり高温になるとエアコンの効きが悪くなる上に消費電力が増えるため、日よけを設置し、直射日光を防ぐことにより、省エネに繋がる。中山工場の空き時間を利用して日よけを作成。工場に出た端材の有効活用ができた。



## 工事現場周辺の清掃

中山公園野球場、山形県総合運動公園の周辺の清掃・落ち葉掃きを行った。中山公園野球場近隣ではゴミ、落ち葉掃きを実施。山形県総合運動公園南駐車場周辺 工事を請け負う3社合同にて実施した。



## 除雪ボランティア

社会福祉協議会との協働で除雪困難地域の除雪を行う。重機等は持ち込まずマンパワーのみで除雪を実施した。翌日に会合があるとのことで、住民の方に大変感謝された。



## 省エネ法についてのオンライン講座受講

2025年4月に改正される省エネ法の改正内容を学ぶ(設計部5名受講)省エネ法の必要性・大幅に改正される省エネ法の解説・省エネ性能計算の記載方法等について学ぶ。



## 8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける環境関連法規は次の通りです。  
確認および評価の結果、環境関連法規は遵守されており、違反・訴訟等はありませんでした。

実施日：2023年7月31日

適用される法規	適用内容または規制基準
■環境基本法	自然環境保全の為の措置を講じ、廃棄物の処理を適正に行う。事業活動を行う際は、環境への負荷の低減、再生資源を利用するように努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■循環型社会形成推進基本法	事業活動は、循環資源の利用を行う。循環型社会の形成に努める。国又は地方公共団体の施策に協力する。
■地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出抑制に努める。国及び地方公共団体の施策に協力する。
■グリーン調達法	物品購入の際は、環境物品等を選択するよう努める。
■環境配慮促進法	情報提供に努め、他の事業者に対し、環境情報を勘案してこれを行うように努める。
■下水道法	事故発生の場合は応急措置を講じ、措置の概要を速やかに公共下水道管理者に届出る。
■山形市火災予防条例	一定量以上の危険物の貯蔵は届出を行う。事故発生時は、直ちに届出・通報を行う。貯蔵所の標識と掲示板を設置する。
■オフロード法	フォークリフトなど特殊自動車を使用する際は、基準適合表示がされた物を使用し、排出ガスの抑制措置を講ずる。
■大気汚染防止法 ■石綿障害予防規則	一定規模以上の建築物について、事前調査・記録の作成保存を行い、結果を県に報告する。石綿等の除去作業を行う際は隔離を行い、作業記録を作成・保存する。
■廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物は適正に保管・処理する。（囲い・掲示板の設置）土地、建物を清潔に保ち、不正処理を発見した場合は通報する。水銀使用製品は他の物と混合を防ぎ、掲示板へ明記する。
●一般廃棄物・産業廃棄物の処理	分別、保管等を行い、市町村に協力する。運搬、処分は許可された業者に委託する。委託契約は、収集運搬業者及び処分業者と別々に行うこと。最終処分が適切に処理されているかを確認する。
●産業廃棄物管理票	運搬・処分を委託する場合には管理票を交付し、交付状況を県知事へ報告する。
■フロン排出抑制法	簡易定期点検を実施し、記録を保管する。廃棄の際は特定の回収業者に依頼し、書面を交付する。
■自動車リサイクル法	廃棄の際は登録業者に依頼し、引取証明書の発行を受ける。リサイクル費用を支払う。
■家電リサイクル法	可能なかぎり長期間使用する。廃棄する際はリサイクル料を支払い、特定の業者へ引き渡す。マニュアルの写しの交付を受ける。
■建築リサイクル法	廃棄物の再資源化を行い、再利用に努める。再資源化の費用を明記した分別解体計画等を作成し、説明する。工事着手前に行政へ届出を行う。分別解体・リサイクルについての掲示を行う。
■建築物省エネ法	省エネ基準を満たし、また所管行政庁からの判定を受ける。建築確認手続きに連動させ、実効性を確保する。一定規模以上の場合は所管行政庁へ届出。住宅事業建築主に対して、省エネ性能の向上を誘導する。
■工場立地法	工場を新設する際、立地している行政へ届出を行う。

## 9.代表者による全体評価と見直しの結果

### 全体評価

環境経営システムについては、今年度で5年目となり、社内の意識向上にも寄与し、社員は環境を意識して日々の業務に取り組むようになってきています。具体的な取り組みの推進や改善への意識付けは、推進委員会を中心に行っていますが、環境に配慮した提案が社員の方から出るようになっており、環境意識が高まってきていると思われます。まだまだ意識が薄い社員もいるため、全社員への更なる意識付けが必要ではあり、引き続き取り組みの推進を図って参ります。

環境経営目標とその実績に関しては、人員増加・仙台支店移転・工事の特異性が要因となり環境経営目標の数項目が未達となりました。一人当たりの使用量として換算すると、ほとんどの項目において減少しているため、資源の効率的な利用や廃棄物の削減が概ね良好に推移しているように思われます。ガソリン使用量の増加は、仙台支店拡張のための人員増加により、仙台-山形間の通勤者の増加が起因するものでありますが、目標削減には至っておらず、今後一層尽力いたします。また、今後の課題として、これまでの集計の結果を踏まえた活用を促進していくことに努めて参ります。法令順守状況については大きな問題はありませんでしたが、新しく施行される法令へ対応できる様今後の改定などに注意し、規定の遵守に留意して参ります。

これまでの活動の結果を踏まえ、問題点の改善を図っており、全体として環境経営システムが概ね有効に機能していると評価します。

### 次年度に向けて

【環境経営方針】は変えず、【環境目標(1%削減)】は、数値的削減目標は1%とし、「実態・実績を把握したガソリン・軽油の燃費向上」について、集計の結果を活用に生かし、エネルギーの効率化に努め、エネルギー使用量の削減に取り組んで参ります。

#### 【環境経営活動計画】

今年度、未達・未実施等の項目について継続実施して参ります。

#### 【組織】

環境管理責任者・環境管理副責任者の変更。環境事務局の変更、経営企画部委員、営業部委員、工務管理部委員、総務経理部委員、カネックス委員、YDK委員を変更します。

愛和建设株式会社  
代表取締役社長 横山隆太



愛和建设株式会社

本 社	：	〒990-0821	山形市北町3-9-15	TEL:023-664-0068	FAX:023-664-0018
仙台支店	：	〒982-0032	仙台市太白区富沢1-18-2	TEL:022-399-8615	FAX:022-399-8617
製造部	：	〒990-0401	東村山郡中山町長崎1208-1	TEL:023-662-5555	FAX:023-662-2200
関連会社					
(株)カネックス	：	〒990-0821	山形市北町3-9-15	TEL:023-664-0073	FAX:023-664-0076
(株)Y.D.K	：	〒990-0401	東村山郡中山町長崎1208-1	TEL:023-687-1950	FAX:023-687-1940